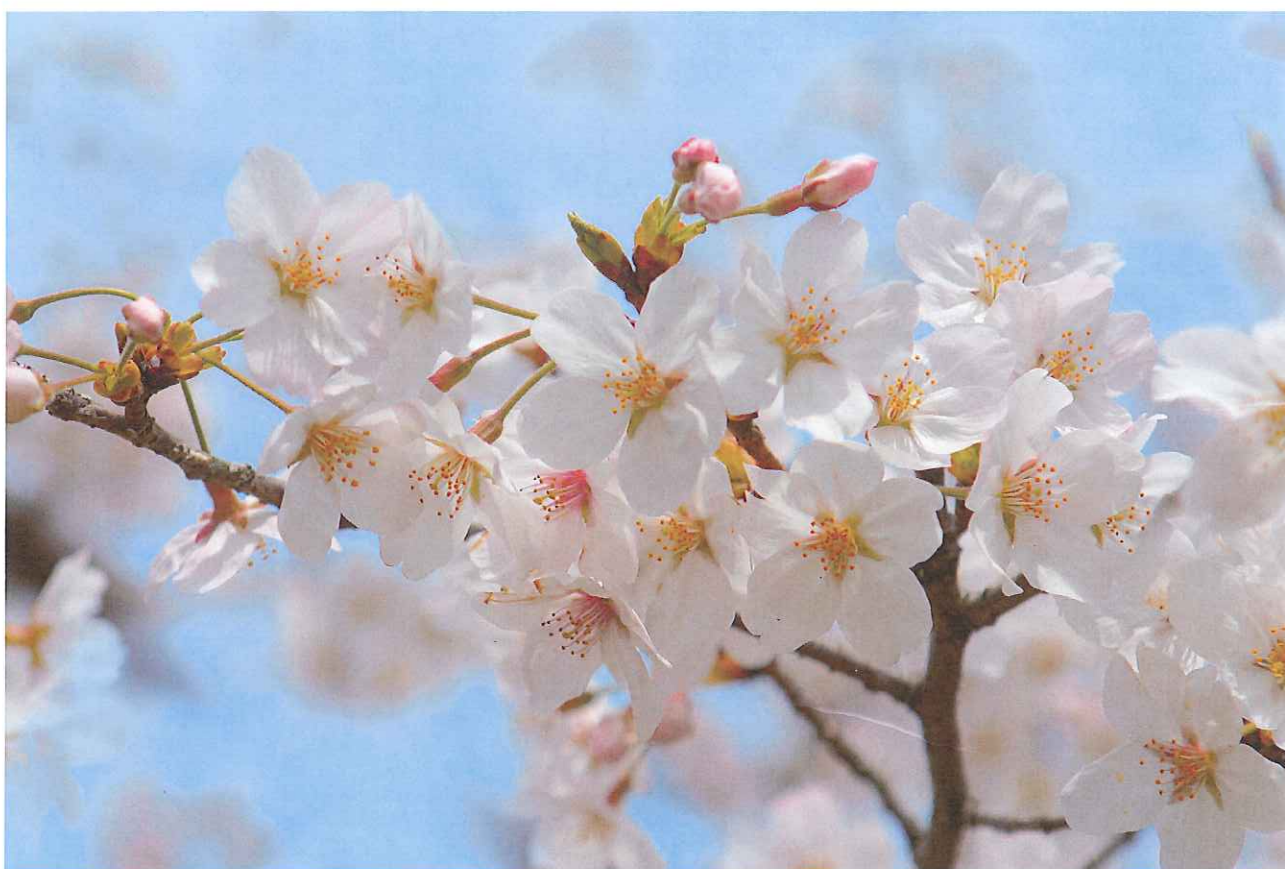


# 健康 第一

■ 2013 第24号 ■



当院の基本理念

## 地域社会との融和

基本方針

1. 地域社会に特色ある医療を担う。  
(女性医療・がん医療・腎臓病・生活習慣病に専門性を発揮する)
2. 利用者が納得する医療を提供する。
3. 心の通う医療を目指す。

## 退任のご挨拶

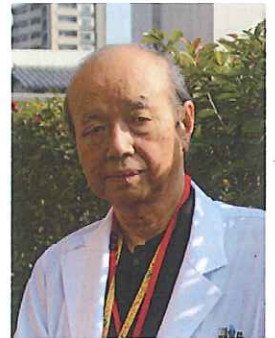
私は、このたび24年間お世話になった社会保険久留米第一病院を、65歳になり定年退職いたします。昭和50年にも1年間久留米大学より出向してきておりますので、合わせれば25年、医師になり久留米大学第一外科入局から数えて実に半分以上を本病院にお世話になった計算です。

思い起こせばその間多くの人たちとの出会いもあり、これも人生のお宝と思っています。健友会の八甲田山登山、ソウルやスキー旅行などなどたくさんの楽しかった思い出がよみがえります。一方、私の前任で最初に出向した時に大変お世話になった溝口 実先生、当院に出向してきた時ほとんど喋ることがなかったおとなしい山崎 義哉先生、また大変愉快であった台湾の張 忠雄先生の死など、大変悲しい出来事も経験しました。しかし、おかげ様で勤務期間、私が大過なく過ごせましたのも、多くの先輩、同僚、看護師、技師、薬剤師の皆様などのご支援、ご高配のたまものと考えています。

いよいよ、本病院の新診療棟建設工事も始まる予定です。職員ももちろん心待ちにしておりますが、一番待ち遠しいのは患者様ではないかと察知いたしております。患者様にはこれまで、プライバシーも保てないような古い本病院にご来院いただきましたこと、私としましては感謝の気持ちでいっぱいです。新診療棟完成のあかつきには、これまで以上に満足していただけることと確信しています。

今後、田中病院長のご高配により週4日程度本病院で継続して働かせていただく予定ですので、変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様方の一層のご活躍と病院のますますの発展を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。



副院長  
磯邊 眞

2013年3月

副院長 磯邊 眞



磯邊先生が世界中の国々を旅行されカメラにおさめられた写真は、病院の色々な場所にギャラリーとして飾られています。



## 退任のご挨拶

私は、助産師になって3年目の冬、昭和51年12月に当院に就職しました。それから1回の退職と再就職を挟み、通算して36年ほど勤務致しました。

就職当時は助産当直の時代でしたが、分娩数も多く月60例を超えることもありました。母子異室制で夜間の授乳はミルクに頼っている状況でした。そんな中、母乳哺育に熱心な助産師さんのリーダーシップのもと、母乳哺育への取り組みが始まりました。産婦さんからは、「建物は古く食事も質素だけれど、助産師さんがとても頼りになる。よく手当してもらえる。」と良い評価をいただきました。2人目、3人目と当院で続けて出産される産婦さんも多く、リピート率の高さにもそのことが現れています。

夜勤のときなど、自分一人の判断が母児の生命に大きく影響を与えることの責任の重さに恐れを抱きながらも、大きな事故なく過ごすことができたのは、共に働く職員のチームワークに支えられての結果、感謝しています。

そして、津田前病院長との出会いが私の職業人生を大きく変えることとなりました。末っ子で甘えん坊の私には、看護局長という職位は非常に重責でした。何もかもが手探りの状況でしたし、小泉内閣の行財政改革の中で、社会保険病院が大きな転換期を迎えたときでした。看護師の退職者も多く、この10年間は看護師確保に追われる日々でした。そのような中、皆さんの協力のもと7:1一般病棟入院基本料の診療報酬を取得し、病院経営にも貢献できました。

また、認定看護師も現在は4分野4名となり認定看護管理者も誕生しました。認定看護師の方々、認定研修参加に快く協力し、研修者を支えてくださった職員皆さんの協力あってのことでした。皆さんがさらに研鑽を積まれ、患者様の『第一病院の看護師さんは優しい』の言葉を大切に、名実ともに看護で選ばれる病院を目指して頂きたいと思っています。

今後、当院は新機構に移行し、今以上に地域医療への貢献が求められます。新診療棟の竣工を弾みにして職員の英知を集結させ、この病院がさらに発展していくことを願ってやみません。長い間、共に働かせて頂いたお一人おひとりに深く感謝申し上げます。



看護局長  
森 かおる

2013年3月

看護局長 森かおる



【ある日の朝の風景 (2010年)】  
-ご利用の皆さんを挨拶でお迎えます-  
(右から、津田前病院長・森看護局長・中島事務局長)



# 診療科紹介

# 『腎臓内科 / 腎センター』

腎センターは筑後地区における腎不全医療の基幹施設として、腎不全医療に精通した外科医、内科医が協力体制を組んで血液透析、腹膜透析（CAPD）および潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法（LCAP療法）などを常時行っています。

また、近隣の透析施設から紹介を受けた患者様の合併症の内科的・外科的治療、およびバスキュラーアクセス（シャント）トラブル治療（手術、PTAなど）は即時対応をモットーに積極的に行っています。



シャント手術風景



透析室

## スタッフ紹介

### 常勤医師



腎センター外科部長  
えだくに せつお  
枝國 節雄



腎臓内科医員  
くろかわ ゆか  
黒川 佑佳

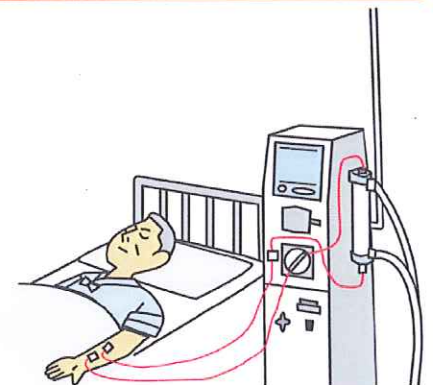
### 嘱託医師



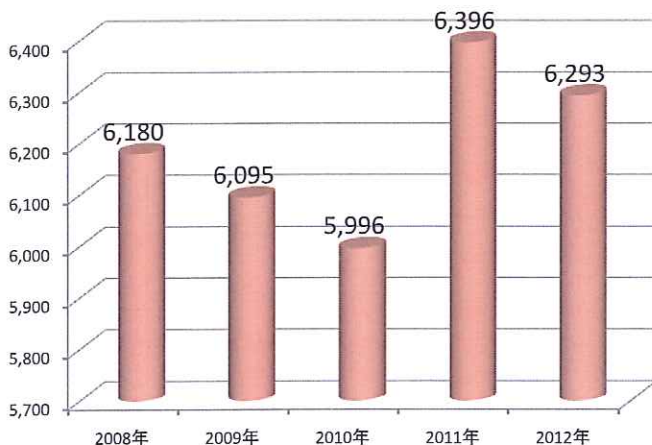
腎臓内科  
みなみ ひろし  
南 浩

## 【腎センター透析患者延数（年間）】

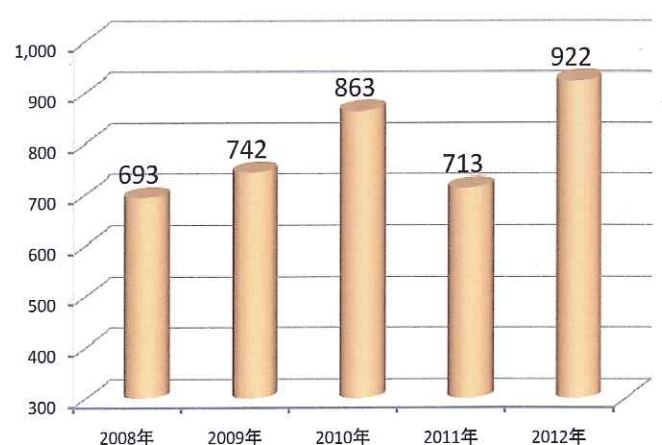
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
総数	6,873	6,837	6,859	7,109	7,215



## 【外来透析患者延数（年間）】



## 【入院透析患者延数（年間）】





## 部門紹介

# 理学診療部

私たち理学診療部では、病気やケガによる障害などのために運動機能の回復が必要な方や手術後の患者さん、また高齢や寝たきりなどにより体力が低下した方を対象とした、日常生活動作改善のためのリハビリテーションを、3名の理学療法士が担当し行っています。

2013年4月1日からは、新たに2名の理学療法士をスタッフとして迎え、また理学診療部から『リハビリテーションセンター』に名称を変更し、新たにスタートします。より患者様に親しまれやすく利用しやすい環境でリハビリを行っていただけるよう努めてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。



理学診療部係長 松尾 健一  
まつお けんいち  
理学療法士 / 呼吸療法認定士  
糖尿病療養指導士 / 専門理学療法士  
(運動器疾患)



ふじき ひでとし  
藤木 英敏  
理学療法士



よしひろ けい  
吉弘 圭伊  
理学療法士



## 部門紹介

# 放射線部

放射線部では診療放射線技師 11名、受付スタッフ 3名で病院内業務と、併設する健康管理センターでの検診業務を行っています。私たちは、検査を受けられる方々により良い医療の提供をし、安全に安心して検査をお受けいただけるよう、積極的に各種研究会に参加し技術の向上、知識の習得に努めています。



診療放射線技師

### 取得認定資格一覧

ITパスポート	1名
医療情報技師	1名
肺がんCT検診認定技師	1名
胃がんX線検診技術部門B資格検定	2名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	6名
放射線管理士	1名
放射線機器管理士	2名
臨床実習指導教員	1名
検査技能検定X線CT検査3級	1名
第2種放射線取扱主任者	1名



CT



核医学検査装置



X線TV装置



マンモグラフィ



MRI



受付スタッフ







## 委員会紹介

# 『禁煙外来対策委員会』

### 当院における敷地内禁煙の導入および禁煙相談窓口・禁煙外来開設のおしらせ

近年、喫煙の健康に及ぼす影響に関心が集まり、社会の禁煙指向も進んでいます。当院は田中病院長のもと病院の全面禁煙化を推進し、また禁煙を希望される患者様に十分な医療サービスを提供する体制を整えるため、昨年より禁煙外来推進委員会を設立しました。

委員会での議論、また患者様やご家族へのアンケート調査の結果、9割近い方から当院の禁煙化にご理解を頂いたこともあり、当院では2013年2月1日より敷地内禁煙を実施しました。さらに、2013年4月から当院でも禁煙外来を開設し、禁煙治療薬の医療保険適用が可能となります。

敷地内禁煙に関する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、禁煙治療を希望される方は受付スタッフまでお気軽にご相談ください。



委員長 北里 裕彦

#### 禁煙治療医

北里 裕彦 (呼吸器内科部長 / 日本禁煙学会禁煙専門医)

平井 良 (総合診療科医長 / 日本禁煙学会禁煙認定医)

末安 禎子 (呼吸器内科非常勤医師)

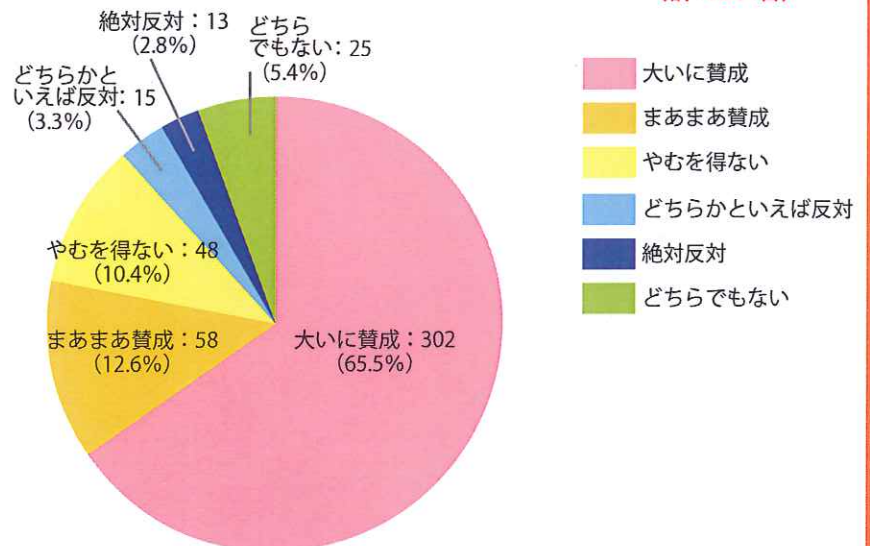
#### 診療日

毎週月曜日・水曜日 午後 (予約制)



#### 当院の禁煙化について

(計 461 名)



# 2012年度 資格取得者

2012年度、8名の医師が11種類の資格を取得しました。これからも専門性に特化した診療を行っていきたくと考えています。



・日本外科学会指導医  
・日本消化器内視鏡学会指導医

・2012年11月合格

外科部長  
**村上 直孝**



・肺がんCT検診認定医師  
・日本医学放射線学会研修指導者

・2012年12月  
・2013年1月 取得

放射線科部長  
**寺崎 洋**



日本病院総合診療医学会認定医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医 / 指導医

・2013年2月  
・2013年3月 合格

総合診療科医長  
**平井 良**



検診マンモグラフィ読影認定医

・2013年1月合格

放射線科医員  
**河野 れい**



検診マンモグラフィ読影認定医

・2012年12月合格

外科医員  
**五反田 幸人**



日本外科学会専門医

・2012年11月合格

外科医員  
**村上 大悟**



日本呼吸器学会専門医

・2012年12月合格

呼吸器内科医員  
**三木 康行**



検診マンモグラフィ読影認定医

・2012年12月合格

外科医員  
**橋口 俊洋**





# 2012年度 学術講演会・研修会

2013年3月11日(月)

## 接遇研修会

テーマ：心あたたまる接遇を目指して  
 - 接遇は生活習慣病 -  
 主催：接遇改善委員会



2013年2月18日(月)

## コミュニケーション エラー勉強会

テーマ：コミュニケーションの基本  
 医療事故につながる誤った  
 情報伝達の防ぎ方 等  
 主催：医療安全対策委員会



2013年2月5日(火)

## 2月 学術講演会

テーマ：病態に応じた2型糖尿病  
 の治療  
 講師：久留米大学内分泌代謝内科  
 教授 山田研太郎先生



2013年1月30日(水)

## 1月 学術講演会②

テーマ：漢方エキス製剤の  
 使い方  
 講師：和漢堂福富医院  
 医院長 福富稔明先生



2013年1月21日(月)

## 1月 学術講演会①

テーマ：低侵襲手術の現在・過去  
 ・未来  
 講師：副院長(産婦人科)  
 畑瀬哲郎先生





2012年12月17日(月)

## 第17回 医療安全大会

テーマ：みんなで取り組む  
救急蘇生  
主催：医療安全対策委員会



2012年12月10日(月)

## 12月 学術講演会

テーマ：これからの救急医療体制  
講師：久留米大学医学部救急医学講座  
主任教授 坂本照夫先生



2012年12月4日(火)

## 第2回 感染管理大会

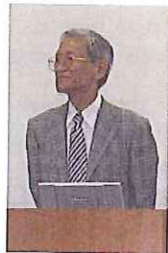
テーマ：劇症型β溶血性連鎖  
球菌の一例  
主催：院内感染対策委員会



2012年11月12日(月)

## 11月 学術講演会

テーマ：放射線治療最近の進歩  
講師：久留米大学医学部放射線科  
主任教授 早瀬尚文先生



2012年10月15日(月)

## 10月 学術講演会

テーマ：久留米市の救急医療の  
実態について  
講師：久留米消防署救急防災課







# 学術活動

## ◆ 学会発表・講演

2012年10月～2013年2月

・演題 ・演者	・学会名
『アナログからデジタルへ、そしてソフトコピーに向けて -知っておくこと、今から取り組むこと-』 中原 博子	平成24年度鹿児島県乳癌検診均てん化研修会
『乳腺領域における超音波ガイド下インターベンション検査について』 平井 良武	第22回久留米乳腺診断会
『(サテライトシンポジウム) 第1回PTEGカンファレンス～PTEG(経皮経食道胃管挿入術)を安全に施行するために～PTEGの適応と合併症』 村上 直孝	第74回日本臨床外科学会総会
『成人の白線ヘルニアの2例』 五反田 幸人、武田 仁良、磯邊 眞、村上 直孝、田中 眞紀、 山口 美樹、高崎 恵美、橋口 俊洋、白水 和雄	第74回日本臨床外科学会総会
『(ワークショップ) J-STARTから見える乳房超音波検診の未来像』 田中 眞紀、北里 誠也	第22回日本乳癌検診学会学術総会
『当院におけるステレオガイド下マンモトーム生検における問題点-手技ごとの検査時間からみえてくるもの-』 中原 博子、山口 薫、田中 眞紀、山口 美樹、高崎 恵美	第22回日本乳癌検診学会学術総会
『(プレジデンシャルシンポジウム) 日本のすみずみまで適時適切な情報発信を～広報委員会ニュースメールの目指すもの～』 村上 茂、石田 孝宣、大竹 徹、竹下 茂樹、村田 陽子、 山川 卓、田中 眞紀	第22回日本乳癌検診学会学術総会
『(プレジデンシャルシンポジウム) ピンクリボン運動を始めとする全国の乳がん啓発活動実態調査～日本乳癌学会広報委員会ピンクリボン活動小委員会予告～』 島田 菜穂子、太田代 紀子、佐久間 浩、笹 三徳、宮良 球一郎、田中 眞紀	第22回日本乳癌検診学会学術総会
『乳癌検診と女性医師』 田中 眞紀	新潟乳がん検診シンポジウム
『術前嚢胞性腎癌と診断した後腹膜脱分化型脂肪肉腫の1例』 陶山 俊輔	第64回日本泌尿器科学会西日本総会
『乳がん術後のリハビリテーション指導～自作DVDを用いて～』 吉弘 圭伊、松尾 健一、田中 眞紀、磯邊 眞	第50回日本社会保険医学会総会
『外来化学療法を受ける乳がん患者の夜間電話対応マニュアルを導入して～導入後の看護師の不安の軽減～』 有働 佳代、大場 玉記、北原 美代子、大坪 清美、時里 玉栄	第50回日本社会保険医学会総会
『3交代勤務の睡眠実態調査』 福野 理恵	第50回日本社会保険医学会総会
『ライセンスフリーでコスト削減』 丸山 耕作、松隈 則人、鹿毛 敬子、楠 智幸	第50回日本社会保険医学会総会
『臨地実習に関わる看護師の負担要素とその負担軽減に向けて』 佐藤 詩織	第50回日本社会保険医学会総会
『当院におけるマンモグラフィ装置の品質管理方法について -共同購入機器を利用して-』 秋葉 ナオミ、坂田 滋、松尾 義幸、中原 博子、山口 裕司、 松藤 義治、山口 薫、野田 幸代、松尾 美穂、大村 智美、 本田 知規	第50回日本社会保険医学会総会
『転移性乳癌に対するテーラーメイド癌ペプチドワクチン療法とその臨床基礎的解析 The clinical evaluation personalized selection of peptide vaccines combined with conventional chemo- or endocrine therapy for refractory breast cancer』 唐 宇飛、高橋 龍司、岩熊 伸高、三島 麻衣、竹中 美貴、 高良 慶子、白水 和雄、藤井 輝彦、田中 眞紀、笹田 哲朗、 伊東 恭悟	第50回日本癌治療学会学術集会
『当院糖尿病外来の在宅自己注射患者の注射部位トラブルの実態調査と今後の指導の検討』 長 睦美	日本糖尿病学会九州地方会
『当院における糖尿病循環型病診連携の進展』 村井 京子、富岡 希巳子、川原 万未子、中山 聡、富田 裕子	日本糖尿病学会九州地方会
『マンモグラフィ施設画像評価認定について -ソフトコピーによる評価開始にあたって-』 中原 博子	筑後地区乳腺チーム医療研究会



・タイトル ・著者	・掲載誌
『Efficacy of goserelin plus anastrozole in premenopausal women with advanced or recurrent breast cancer refractory to an LH-RH analogue with tamoxifen: Results of the JMTO BC08-01 phase II trial』 REIKI NISHIMURA, KEISEI ANAN, YUTAKA YAMAMOTO, KENJI HIGAKI, <b>MAKI TANAKA</b> , KENJI SHIBUTA, YASUAKI SAGARA, SHINJI OHNO, SHIGERU TSUYUKI, TAKAHIRO MASE and SATOSHI TERAMUKAI	ONCOLOGY REPORTS Vol.29
『Treatment When Prognostic Factors Do Not Match St.Gallen Recommendations: Profiling of Prognostic Factors among HR(+) and HER2(-) Breast Cancer Patients』 <b>Kyoko Satoh, Maki Tanaka</b> , Ayako Yano, Jiang Ying, Tatsuyuki Kakuma	World Journal of Surgery Vol.37
『過敏性肺炎』 北里 裕彦, 岡元 昌樹, 田尻 守弘, 川山 智隆, 星野 友昭	医学と薬学 Vol.69, No.2
『慢性閉塞性肺疾患 (COPD)』 古賀 智絵, 北里 裕彦, 星野 友昭	臨床検査のガイドライン JSLM2012 検査値アプローチ/症候/疾患
『福岡県の透析医療における地域格差の検証 Regional variations in healthcare services for patients treated by Hemodialysis in Fukuoka』 猿渡 倫治, 西 巧, 馬場園 明	医療福祉経営マーケティング研究 Vol.7, No.1
『胆内胆管癌との鑑別が困難であった良性胆内胆管狭窄の1例』 高橋 龍司, 武田 仁良, 磯邊 眞, 田中 眞紀, 篠崎 広嗣, 山口 美樹, 津福 達二, 堀内 彦之, 中島 収, 白水 和雄	日本消化器外科学会雑誌 Vol.46, No.1
『最小乳癌の検出, 診断とその治療 -九州沖縄地区アンケート集計から-』 駒木 幹正, 上尾 裕昭, 光山 昌珠, 大野 真司, 西村 令喜, 田中 眞紀, 大友 直樹, 相良 安昭, 吉永 康熙	乳癌の臨床 Vol.27, No.6
『女性乳腺医師の抱える問題-アンケート調査報告-』 Women Breast Cancer Consortium (WBCC): 田中 眞紀, 徳永 えり子, 岩瀬 弘敬, 大野 真司, 田村 和夫, 丹黒 章, 土井原 博義, 西村 令喜, 光山 昌珠	乳癌の臨床 Vol.27, No.6
『Study on the state of implementation of HER2 testing and positive ratios in patients with breast cancer in the Kyushu-Okinawa region of Japan』 Yasuaki Sagara, Yoshihiko Kamada, Yutaka Yamamoto, <b>Maki Tanaka</b> , Makoto Kubo, <b>Rin Yamaguchi</b> , Reiki Nishimura, Shosyu Mitsuyama	Breast Cancer Vol.19
『中枢性睡眠時無呼吸にて発症したChiari I型奇形の1例』 古賀 智絵, 三浦 史郎, 川口 城毅, 吉富 宗健, 内門 久明, 星野 友昭	日本呼吸器学会誌 Vol.1, No.7
『Benign phyllodes tumour with intraductal papillary growth of the breast in a young woman』 <b>Rin Yamaguchi, Maki Tanaka, Miki Yamaguchi, Emi Takazaki, Makoto Isobe,</b> <b>Hiroshi Terasaki, Yoshitake Hirai, Hirohisa Yano</b>	J Clin Pathol Vol.65, No.2

ホームページで、今年度 学会発表情報及び発表論文を  
随時、更新しています。

- \* 学会発表: 「学術活動」⇒「学会参加・発表情報」
- \* 発表論文: 「学術活動」⇒「最近の活動」







# 3月～5月の主な院内スケジュール（予定）

※網かけの項目は患者様対象の教室です。詳細は、ホームページ「教室のご案内」をご参照ください。

日時	内容	講師
3月1日（金）	糖尿病教室（試食会）	
3月4日（月）～ 15日（金）	糖尿病教室 ※9日（土）・10日（日）は休み	
3月6日（水）	骨盤底筋体操教室	
3月11日（月）	接遇研修会「心あたたまる接遇を目指して－接遇は生活習慣病－」	
3月18日（月） 17時30分	医局抄読会	
3月26日（火）	糖尿病性腎症教室第3回（試食会）	
3月27日（水） 17時30分	乳腺セミナー	
3月28日（木） 17時30分	糖尿病セミナー	
4月3日（水）	骨盤底筋体操教室	
4月5日（金）	糖尿病教室（試食会）	
4月8日（月）～ 19日（金）	糖尿病教室 ※13日（土）・14日（日）は休み	
4月15日（月） 17時30分	医局抄読会	
4月16日（火）	NST講演会 「栄養サポートチーム加算を契機とした久留米大学NST活動の変革」	久留米大学病院 管理栄養士 多賀 百香氏
4月17日（水）	骨盤底筋体操教室	
4月17日（水） 17時45分	乳腺画像病理診断会（CPC）	
4月24日（水） 17時30分	乳腺セミナー	
4月25日（木） 17時30分	糖尿病セミナー	
5月1日（水）	骨盤底筋体操教室	
5月9日（木）	糖尿病性腎症教室第1回	
5月10日（金）	糖尿病教室（試食会）	
5月13日（月）～ 24日（金）	糖尿病教室 ※18日（土）・19日（日）は休み	
5月15日（水）	骨盤底筋体操教室	
5月15日（水） 17時45分	乳腺画像病理診断会（CPC）	
5月20日（月） 17時30分	医局抄読会	
5月22日（水） 17時30分	乳腺セミナー	
5月30日（木） 17時30分	糖尿病セミナー	

編集後記

筑後川沿いに咲く菜の花が黄色い絨毯となって、私たちの目を楽しませてくれています。春は出会いと別れの季節ですね。当院も4月より新体制となります。これからも専門性に特化した診療を行っていきたく考えていますので、よろしくお願いたします。  
(広報委員会)



社会保険久留米第一病院

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町21番地  
TEL: 0942-33-1211 FAX: 0942-32-0113  
2013年3月発行 発行責任者: 病院長 田中 真紀  
編集: 広報委員会